竜丘公民館報
No. 38
発行人 木下右治
編集人 編集部
印刷所 龍共印刷株式会社
発行所 竜丘村公民館

新館長に木下右治氏を迎える

前館長北沢小太郎氏は去る三月退職されたので、後任として元本村中学校長であり初代公民館長であつた木下右治氏が就任した。

就任挨拶

公民館長 木下右治

私こと今回お招きにあづかりまして御村にまいり、公民館長の重職に就かせて頂きました。然し何等の抱負も経綸も御座いません。たゞたゞ村民の皆々様の御支援と協力を得まして、その職責を順次果して行きたいと念願するもので御座います

御承知のとおりさきに御村の学校長として六ケ年勤務させて頂いて居りますので、皆様のお顔を知つています。そこから出発いたしまして皆様の御要求をお聞きし、よく皆さんと懇談しつゝ村の社会的文化面の仕事を一歩々々押し進めて行きたいと思つています

「盛り上る力の結果」之が私のモツトーで御座います。公民館の運営に就ては考えなければならない課題が沢山ありますけれども、その根基になるものは、民主的に盛り上る力の結果にあると思います 各種団体や同好者のクラブや又個人々々の立場で村の文化を向上させて行くにあたり、各々がその目標に向つて自律的に活動する根底に「和」に基く「力の結果」が最も必要であると思います。「和」は妥協することではなく、お互の力を制肘しあう事でもありません。お互の主張は認め合い、他を尊重しあうところに自由があり進歩があると思います。個々の力の伸展が村全体の力の伸展と相即的に関联しなければならないと思います。こゝに於て私は「和」による「力の結果」を最も大切なものとするのであります。この基底の上に今後の公民館運動の個々の具体的活動を位置づけて行きたいと念願いたして居る次第で御座います。何とぞ御遠慮なく御鞭撻下さいますようお願いいたします。

県協会より表彰
我が消防団

四月五日に飯田市城下グランドで行われた全郡下の消防団幹部訓練の当日、本村消防団は県消防協会より、優良消防団として表彰された。尚四月二十五日は、その披露を合せ、本村春季演習を盛大に行つた。

公民館長を退任して

北沢小太郎

月日の経過は速いもので昭和二十五年四月以来館長在任三ケ年経ちました

この度三月を以つて退任に際し館報紙上を以つて一言御挨拶を申述べたいと思います

村の社会教育は地方自治建設の一面を担当して居る重要な責任を未熟な者が背負つて今更深い反省の心をもつて感じて居ります

唯仕事の至らなさを顧み乍ら、心から感謝して御願申上げたいのは運営委員や各団体の皆様、そして特に事業部長部員の各位の寄せられた御協力でありました

公民館は何かと言う言葉をよく訊かれたものでしたが、とに角建物だけでなく社会教育の組織なのだと言う事がよく理解されて来た事は嬉しい事と思いました

終戦后の社会教育は戦前の命令に依る社会教育と異つて郷土社会の要請をもとに、その村の人の希望する処の仕事が出来た等でしたが何もかも微力で不充分に終つた事を申訳なく感じます

村毎に教育委員会が発足し、そして学校教育と社会教育との二面を担当していたゞく訳ですが、日本の封建的な生活や文化をいくらでも民主化し、新しい時代の感覚に進める役割を充分伸して公民館活動の芽を発展さしていたゞくよう希望してペンを擱きたいと思います

発展する本村酪農

農家経済の安定と合理的な農業経営をするには、乳牛を飼育しなくては、と農家の熱も高まり本年四月一日現在で八二頭に及んで居る。更に乳牛貸付規程によつて近々に十頭の乳牛が導入されることになり、又自己導入にもより目指す百頭は二十八年度中には到達すると大変な意気込みである。

公民館の事務所を 役場に移す

公民館には電話もなく他村との連絡上から言つても、村内からの連絡も欠ける点が多いので、この度公民館の事務所を役場に移すことにした。

従つて今後公民館の連絡は役場の方へお願いたします。

駄科託児所開設

保育園の必要性に鑑み駄科区としては本年は是非幼児の為に最善の努力をなし開園致したいと考えておりましたが、たま〳〵婦人層の熱烈なる要望もありまして、遂に廿八年度当初予算に三万円を計上し、一行政組合宛約二千円の寄附と其の他特志寄附を目標に区の役員会無事通過し、区役員婦人会役員と各種団体長が設立委員となり四月一日開園の出来る様先進地松尾、鼎、座光寺、下市田等視察をなし、先づ私設の託児所程度のものと云う計画で、公民館の建物五十坪を利用し便所一坪、炊事場三坪、事務室二坪の増築をし、オルガン、ブランコ、砂場、水道の設備をなし三月後半の連日の降雨の為に工事は意外におくれましたが、四月廿日午前十時より保姆三名、園児百余名出席の下、村長、教育委員長、公民館長、地区出身村会議員、区役員、青壮年役員、保護者各位の御臨席を得て開園式を挙行出来ました事は一般村民の絶大なる御理解の賜と厚く御礼申上る次第であります

（区長 下平勲賓）

事業部の統合

公民館の任務は何か、社会教育を推進して行く公民館はいかに運営さるべきか、等の課題は最近行きづまつているといわれている公民館運動に大きな反省が与えられている。公民館運動を根本的に考えなおす時期が来ているのではないかとさえ思われる。わが竜丘村公民館もこの点に留意し、大いに研究したいという希望をそこここから聞いている。

この重要な問題は本年度一年間に大いに研究する事として、とりあえず事業部を統合することにした。即ち教養部社会部を統合して文化部とし、保健衛生部は村の国保にその仕事を委任することにした。情報部は改称して館報編集部とした。

したがつて事業部を文化部、産業部、体育部、芸能部、館報編集部、図書館部の六部に統合したのである。この部の統合については二十七年度の部長副部長会にて検討立案し、運営審議委員会に於て審議決定したものである。

村内當り放題に答えて

先月号の本紙に出た「村内当り放題」はなか〳〵興味深い意見でありましたが、その中にカルニユー光学存置の件について「村財政面が苦しいと云われる矢先に土地迄買い与えて一営利会社に居て貰わなければ損だと云う理由を公平にして貰いたい」とありましたので要点を簡明に御答えします。

敷地は一応村が買つた事はその通り事実でありますが、それは全部会社に買取つて貰うのでありますす。近頃他所の工場誘致の例をみると敷地は無償で提供する所が多い様ですが、カルニユーの場合は会社の方からあまり村へ迷惑をかけたくないと云う話がありましたので、村財政の苦しい折から敷地を買取つて貰うことにしました。新聞等で今迄随分誤つた事が伝えられているので此の点は改めて御承知を御願いします。

カルニユーを存置した理由としては今后村人の就職に好都合であり、且よい生産教育が受けられる事、村財源として又村経済の振興面に於て大きな力になること等が挙げられますし、現在已にそれが事実でありますのでよく御理解が頂けると信じます。（当局）

春期防犯運動

五月一日より卅一日までが春季防犯運動期間です。犯罪を未然に防ぐ様に努力致しましよう。

衆、参議員選擧で表明された本村投票

四月十九日に行われた衆議院議員の総選挙は、本村有権者二千九百四十八名中二千五百十一名が投票、内五十四票無効、各候補者の得票は左記の通り。

氏名	党派	得票
今村 忠助	（自吉）	八六九票
原 茂	（社左）	五三一〃
宮沢 胤男	（改進）	二九三〃
吉川 久衛	（改進）	二五三〃
林 百郎	（共産）	一八四〃
牧内「武人	（労農）	一六七〃
小川 平二	（自吉）	一三四〃
清水八十治	（無）	二六〃

参議院

四月二十四日の参議員選挙の、本村における各候補者の得票数は左記の通りである。

地方区

氏名	党派	得票
羽生 三七	（社左）	一八六五票
木内 四郎	（自吉）	一七八〃
菊地 謙一	（共産）	一〇三〃
小山邦太郎	（改進）	七六〃
小林 次郎	（自吉）	六九〃
黒田新一郎	（社右）	三四〃

全国区

（得票数五十票以上のみにする）

氏名	党派	得票
小田 静枝	（無）	二三六票
唐木田藤五郎	（改進）	一九〇〃
下条 康麿	（緑）	一〇六〃
岸 良一	（無）	一六四〃
森田 義衛	（無）	八七〃
青木 一雄	（自吉）	八二〃
中島 雋吉	（自吉）	五二〃
雨森 常夫	（自吉）	六七〃
永岡 光治	（社左）	五七〃
大倉 精一	（社左）	五八〃
梅村 登	（無）	六七〃

（以下略す）

竜丘PTA二八年度組織

一、会長 橋本玄進
副会長 前島秀夫 林さかゑ
下平国子 茂木住平
新井芳実

二、常任委員
北沢小太郎 中平 要
下平重人 小島兵次
林さかゑ 斉藤 正
下井田幸一 高木 関
岡島耕平 下平忠雄
下平国子 下平定雄
前島秀夫 佐々木文恵
吉川寿美 牧内正吉
木下信子 吉倉暉生
伊藤祐春 伊藤陽治
宮島 進 平沢静江

三、事業部長・副部長

	部長	副部長
総務部	前島 秀夫	林さかえ 茂木住平 伊藤祐春 下平国子 新井芳実
教養部	北沢小太郎	佐々木文恵 宮島 進
施設部	高木 関	小島兵次 木下信子 下井田幸一
厚生部	中平 要	下平忠雄 平沢静江 吉川寿美
校外指導部	下平 貞雄	下平貞一 岡島耕平 牧内正吉 伊藤陽治 下平重人 斉藤正 吉倉暉生 宮川美佐男

四、幹事 宮島進 伊藤祐春

五、小学校部
部長前島秀夫 副部長林さかゑ

中学校部
部長 北沢小太郎
副部長、下平 国子

本年度農作物凍霜害

本年当初の各農作物の生育状況は非常に順調に進行し増産を予想されて居りましたが、四月に入り降雨日数少く晴天が続き、為に耕土の浅き地帯は旱魃を蒙り、麦類は地際の下葉より黄変し始めて来た。たま〳〵四月十五日、十八日廿五日の三日間に寒波が襲来し、四月中の最低気温も上旬には平年差零度、中旬には零下三度、下旬には零下二、四度も降下し、前記三日間は特に零下二、四度乃至零下四、五度迄降下した為に各種農作物の凍霜害による被害を蒙つた結果となつた。

一、氣象關係について

本年度の異常気象は各地共低温を招来したのであるが、飯田近在の四月の気温は左記の通りでした

	飯田測候所	農試下伊分場
十三日	一二、七	一二、一
十四日	〇	一〇、七
十五日	一一、六	一二、四
十六日	一五、一	—
十七日	一一、一	一一、二
十八日	一二、四	一三、四
十九日	一〇、六	一一、四
二十日	〇	一一、〇
廿一日	十七、二	—
廿二日	一〇、六	一二、〇
廿三日	十〇、三	一一、四
廿四日	十〇、五	一一、五
廿五日	一、二五	一四、〇

右の最低気温でも解る通り今回の寒波の襲来は地帯により非常に異り、標高の高い処より低い処即ち天龍川沿岸の平坦地が低く、従つて作物の成育の進んだ所程凍霜害の被害は大きかつたわけである

二、作物の被害状況

本村における凍霜害の被害状況は場所により異るが、特に蒙つた地帯は、長の原全地域、桐林久保尻、古瀬、安城、上川路並の平坦地が多く、その他部分的に駄科を始め桑畑地帯が蒙つたである。各種作物の被害状況は去る五月七日現在の推定では左表の通りである。

	麦類				桑	果樹			
	大麦	裸麦	小麦	計		梨	りんご	柿	計
皆無	7反	4反	5反	16反	)30	2反	1反	7反	10反
7割以上	15	30	65	110		2	2	6	7
5−7	30	40	90	160	80	1	2	4	6
3−5	20	38	90	140	200	0	1	5	6
3割以下	38	50	86	174	350	0	0	0	0
被害合計	110	162	336	609	600	5	6	22	32
被害の予想減収量	142石	193石	410石	745石	38550〆	2340〆	1850〆	6620〆	10810〆
被害の見込金額円	582.200	965.000	2.091.000	3.638.200	2698.500	455.880	262.700	397.000	1115.880

三、郡下の被害状況は

種類	見込減収量	被害予想金額 単位円
苗代	四六、六五〇坪	二、四六〇、〇〇〇
麦類	一五、〇八一石	七一、七六六、〇〇〇
果樹	九六二、四四〇〆	一五六、二三三、六六〇
桑樹	三三、一〇二〆（蚕繭）	六六、二〇四、〇〇〇
合計		二九六、六五二、六六〇

その他作物の被害としては菜種温床、蔬菜、西瓜等があるが推定困難の為記載出来ず。

参議院議員黨派別票数

	男	女	計
自吉	三三〇	一	三三一
自鳩	なし		
改進	二六七	〇	二六七
社右	三四	一八	五二
社左	二七九	六	二八五
共産	三九	〇	三九
労農	なし		
緑風	二三六	五七	二八三
諸派	一二	五	一七
無所属	六七九	二七七	九五六
計	一八六六	三六四	二二三〇

中学校長 着任のあいさつ

茂木住平

今回はからずも竹上先生の後をうけて歴史と伝統に輝やく竜丘中学校長の職をけがさせていただく事になりました。

私は下久堅中学校に前後六年という長い間勤めて居りました。その間支会の会合等で当村には度々御厄介になり、又天竜川を隔てゝ竜丘村の教育がどの様な動きをしているかという事はかね〴〵十分に承知して居り、全時に強いあこがれをさえ抱いて居りました。然しこうして現在村の住宅に移り住み、日々村の教育を担当させて戴いて見るとこの様な教育文化は一朝にして出来上つたものではなく、長い間村民の皆様が非常な苦心と犠牲とをはらつて教育第一をモツトーとして進んで来られた結果である事がはつきりわかつて参りました。と全時に私の双肩にかゝつて来る責任がどの様に重いものかをはつきり自覚せずには居られません。

朝々通学の途上明るい希望に燃えるまなざしで「お早ようございます」といつてあいさつしてくれる生徒を見る度に、校長よしつかりやれといつて鞭うたれている様な気が致します。三百六十の私の生徒達はそれ〴〵の意味で校長に何かを期待して居るわけであり、又村当局は勿論、直接生徒を中学校に送つて居られる父兄保護者の皆さんも各々の立場で学校に期待する事が多々あると思います。

私はそれ等の希望を十分に承知し出来得る限り、その責を果して参りたいと思いますが、勿論人間としてもまだ〳〵未完成であり、又校長としての経験も乏しい者であり、今後村民の皆様の建設的な指導と助言を戴く事なしにはその職責を全うする事は出来ません。どうか今後特別の御鞭撻御支援を賜わるよう、切にお願い申します。

二十八年度中學校職員編成

茂木 住平　校長
宮島 進　教務主任
宮川美佐雄　三年一　社会科、生徒会
上松 基祐　三年二　数学、放送
若尾 一郎　三年補助　英語
桜田美都子　三年補助　家庭科、衛生、給食
吉沢 清之　三年一　職業科、教科書、勤労作業
下原 恒男　二年二　国語、読書、新聞
伊藤 輝明　二年三　理科、会計、映画
北原 光江　二年補助　音楽、購買、家事室、音楽室
河田富亘　一年一　職業科　営繕、子供協同組、職業指導
平沢 静江　一年二　家庭科
松尾 豊　一年三　保健体育科、体育
久保田裕久　一年補助　数学、図書館
田中 重穂　三年補助　習字、図画、工作
宮坂秀臣、中村卿（休職）

○新任者
茂木校長—竹上前校長の後任として下久堅中学校より
久保田裕久—中村先生休職の後任補充として上清内路中学より
若尾一郎—宮坂先生休職の後任補充として高松高校新卒

私のお母さん

中学二年二組　市瀬きみ子

私のお母さんという題で作文を作りなさいと先生にいわれて、なにかしら目頭のあつくなるのを感じた。なぜならば私にはお母さんがないからです。

母は私が六才の時病気のために二度と再び帰らぬ人となつた。母は長い間病院生活を送つた、が母の病気はなおらなかつたのです。おさなかつた私には、母を思い出すといくつかの記憶が頭の中によみがえつてきます。

母の死のため病院から姉や近親の方達が荷物を車にのせて、雨の中を歩いて家に帰つて来た。この時姉さん達が庭に立つたまゝ、ないていた。その時の顔はいまでもわすれる事が出来ない。

妹は一才の時母と死に別れた。妹は母の入院中姉と共に病院で母の乳と、牛乳とで育てた。母の死後は年老いたおばと姉とが牛乳で育てた。なみたいていの苦労ではなかつたであろう。

私は学校三、四年の頃までは母のいない事に対して何一つ感じなかつたが、しかしその後なにかにつけて「あゝお母さんさえいてくれたらなあ」と人にかくれてむせびないたのも、いくたびあつただろう。友達がお母さんと共にどこかへ出かける姿を見ては、母のいないかなしさに歯をくいしばつて悲しみをこらえた。又母の日等、代表の人達が「お母さん、ありがとう」とお礼の作文を読まれる時等聞いて胸がつまり、目になみだがうかぶ。まわりの人達が見ていないのを見定めてなみだをふいた事もあつた。

どんな姿であつたろう、定めしやさしい心の持主であつたにちがいない。

「お母さんがほしい、お母さんがほしい」この気持は母に死に別れた人にはよくわかると思います。

私は思う―。ほんとうの母の愛情のありがたさのわかるのは、母がいなくなつてからわかるのではないかと思います。この作文を書いていても、やさしい母の笑顔がまぶたのうらに浮ぶ。

どんなに体が弱くても生きていてほしかつた。私は心にちかう。死んだ母にはづかしくないりつぱな人間になろう―。情愛にみちたお母さん、いつまでも遠いかなたから私達を見守つていて下さい。

小學校の職員組織

昭和二十八年三月末に木下光哉先生を大島小学校、本島俊文先生を飯田市浜井場小学校、丸山節子先生を喬木第二小学校へ送り、菅沼ちふね先生が一身上の都合により退職され、後任として林茂雄先生を飯田東中学校、佐々木妙子先生を北佐久郡北御牧小学校、城田文子先生を喬木第二小学校、知久光男先生を大河原小学校からそれ〴〵お迎えして次の様な組織をとゝのえて昭和二十八年度を出発しております。

職員組織

（四月一日現在）

担任 学年学級	児童数 男	女	計	校務分掌		氏名
学校長						新井 芳実
教務主任				教務、庶務一般		伊藤 祐春
一東	二六	一七	四三	算数	学校図書館、校具、就学前教育	知久 光男
一中	二七	一七	四四	家庭	給食、就学前教育、接待	宮脇 章子
一西	二四	一八	四二	図工	就学前教育、営繕	原 興資豊
二東	二一	一九	四〇	算数	修養会、学校給食	鳴海 茂一
二西	二一	二〇	四一	国語	学校図書館、修養会、教科書	松下 正
三東	二四	二〇	四四	家庭	修養会、給食接待	佐々木妙子
三中	二三	二一	四四	国語	学校図書館、庶務、講習講演会、教務	沢柳 周一
三西	二一	二四	四五	社会	視聴覚、清掃	有賀 千篤
四東	二一	二二	四三	算数	児童会、校具	大沢 喜晨
四中	二〇	二三	四三	音楽	保健、接待、庶務	城田 文子
四西	二一	二三	四四	社会	クラブ活動、参考書	林 茂雄
五東	一九	二〇	三九	理科	視聴覚、参考書	原 寛康
五中	二一	一九	四〇	国語	クラブ活動、校具	中島 博
五西	二〇	一九	三九	社会	児童会、教科書	清水 三郎
六東	二〇	二一	四一	音楽	児童会、参考書、講習講演会、教務庶務	伊藤 陽治
六中	二〇	二一	四一	体育	保健、教科書、防火避難	林 文雄
六西	二〇	一九	三九	理科	視聴覚、営繕	篠田 正二
養護				学校保健		沢柳知勢子
事務				学校事務、庶務		下田 馨

公民館短歌會

一、毎月第二土曜日の夜
一、会場　図書館にて
一、前日までに詠草二首を公民館事務所木下宛お届け下さい
一、特に初心者を歓迎します。

圖書館だより

今まで定期貸出の外に公民館の主事が事務所における場合は常時貸出しておつたが、五月以降定期（毎月五、十、十五、廿、廿五、卅）の日以外には貸出さない事にした

肥料の配合始まるか

二十八年度の本村農業振興計画の先駆として、農協では完全肥料の配給をして施肥の改善を計るようこの程時又支所に三間に六間の配合所が新築され間も無く完成する五月二十三日頃より配合を始める予定ですから農家の皆様御利用下さい。

泉すみ子様逝く

木下きの

○クレゾールの臭いこもれる部屋ぬちに
　逝きたる友の面わ安けし
○友のなきがら伏します室の棚の上に
　さしし水仙の花はしほれぬ
○なきがらとなりたる君が枕辺に
　びんの水薬半ば残れり
○蝋の如く逝きたる頬につけられし
　ルージユ色のかなしかりけり
○軒下の炊事もなれて若葉晴るる
　今朝すがすがしい筍をにる
○春嵐一夜を吹きて沢道に
　今朝は胡桃の花青く散る

ぼくのお母さん

小学校五年中組　大見新一

今日もお母さんはいつしようけんめいおせんだくをしています。お母さんはぼくのことならなんでもしてくれる。ぼくが一年生になつてから、お母さんは自分の本をとるのをやめて、ぼくの「小学一年生」の本をとつてくれました。そして「いつしようけんめい勉強をしな」といつもいつもぼくをはげましてくれました。

いつか四年の時こんな事があつた。学校にぞうきんを持つていかなければならないが時間がおそくなつたのでぞうきんを持つていくのをやめようとした。それはぼくがお母さんに前に言つておけばよかつたのに言うのを忘れていたことが悪かつたのでした。するとお母さんはごはんをたべかけで「言わなければだめだね。すぐぬつてやる」と言つてにかいに上つていつてミシンで大いそぎでぞうきんをぬつてくれました。ぼくはその時ほんとうにうれしかつた。お母さんに感謝してこれからは言うことをきかなければいけないと思いました。今もお母さんのつくつてくれたぞうきんで机をふいています。そのぞうきんもやぶれかけたが、ぼくはお母さんがいそいでつくつてくれた時のことを思いだして大事につかつています。

ぼくはまだ一日も学校を休んだことがない。これはお母さんがぼくが病気をしないようにいつも気をつけてくれるからだと思います。お父さんが用があつてどこかに行くような時、お母さんはお店ばんなどてつだつてくれといゝます。ぼくが店におれば、お母さんは安心してうらの方で仕事をしています。お母さんの働くすがたを見ているとありがたいと思う心でいつぱいになります。ぼくは一生けんめい勉強してよい子になり、お母さんのよろこぶ顔を見たいと思います。

ピアノの寄附

軌道に乗る

一時行きなやんでいた昨年来の懸案である学校施設ピアノ購入資金寄附問題は、年度変りを機会に方針を改め、教育委員会も大いに協力して再出発したが、最近各部落共寄附帳の記入に取り掛り部落に依つては相当進んでいる向もある模様である。一般村民の皆様が非常な協力を示されているのはお互に有難いことである。一日も早く新しいピアノの音が聞ける様にこの上共一層の協力をお願いしたいと直接寄附募集に当つている関係者は語つている。

春蚕の掃立決定す

本年度の春蚕掃立は四月中下旬の異状気象に依り大変掃立が遅延されて居たが、最近決定し第一号口五月二十日掃八、二〇〇瓦、第二号口　五月二十四日掃六、四〇〇瓦合計一四、六〇〇瓦が掃立られる事になつた。尚四月、中下旬の凍霜害に依り一部桑園の被害を見たが、全村的には大した被害はなく昨年に比して一割六分増の掃立となつた。又品種は昨年春と同一品種にて蓬莱×千華である。

桑の発芽状態は蚕業試験場の発表によると平年より六日、昨年より一週間遅れて居る。愈々本年度の春蚕も近く幕が切られるわけだが指導部に於ては気候不順につき特に蚕室の準備には目張をなし、蚕病の発生も増加しつゝあるにつき必ずフオルマリン二%液（十七倍稀薄）にて完全消毒をなすと共に尚用桑は光当りの良い桑園を撰んで採桑し、配布せる標準表に依り飼育に万全を期せられ度く農協養蚕指導部は要望して居る。

館報原稿の募集

一、役場、農協、学校等の諸機関の公示するもの。
一、館報は村民のものであるから、いろ〳〵の立場の御意見や報告をおきゝしたい。然し破壊的なものであつたり、他を誹謗する事は避けたい。村の実相に就いての建設的な進歩的な正しい批判は結構である。
一、原稿の採否は編集部へ一任して下さい。
一、毎月十五日を締切とするから奮つて投稿してもらいたい。

貯水池設置及

農機具新調

上川路防火用水第一期工事として今度区公民館倉庫前へ二間に三間深さ九尺の池を作る事に成りました。上川路中央部は水利が不便の為区民の声として設置の要望が非常に強かつた。その矢先今回設置する事に成つた訳である。その喜びは大したもので、不幸は永遠に起さないと各々が心に誓い不安を一掃して愈々郷土発展に躍進工事を行なうよう、話が進んで居る。

……

籾摺機が古物で優秀な製品が出来ない上、一台に附添二人が必要であつたのであるが、今度最新自動式動力籾摺機を購入する様になり近日中に到着の予定。今秋からは附添一人、能率も数倍も増加し、玄米の品質は絶対落さないと云う。今后我が上川路区より供出される米は名実共優秀であると折紙が付けられるであろう。

（上川路分館）

はやる議員委員の視察旅行

今春村議員を筆頭に各委員が競争の如く各方面へ出かけたが、左記の様に時期が同月中なので村内一部では慰安旅行を村費で行つたのではないかと云う疑問があるが次号公民館報にはそれ〴〵の目的及視察記が登載される予定ですから諒解できる事と思う。

村会議員一行十九名は四月六日より八日の間静岡県から東京方面へ視察。

教育委員会関係十七名は四月三十日と五月一日の二日間にわたり、東筑摩及南安方面へ組合立中学の視察をした。

民生委員一行八名は上田方面（東筑波多村の波多学院、信濃学園）え福祉施設の視察を五月六日より八日の三日間行つた。

尚農業委員は五月二十日愛知県方面へ向つて出発の由。

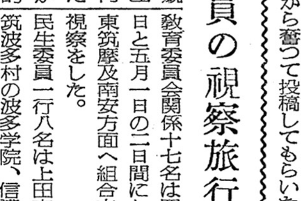
春季清潔法巡検

いわゆる衛生廻りは五月十二日より十六日にわたつて全村、役場職員、衛生組合協力委員と保健所の係員によつて巡検された。今回は各家庭の便所と台所に重点を置かれたが、例年に比較して良好なるもまだ〳〵不潔で悪い所があつた何時も清潔な生活をして健康な毎日が送れる様に心がけたい。

村税滞納をみる

納税関係は、何時も滞納で困つているが、二七年度の本村の状況は三月末日現在で納税率九十四%で内村民税十九万、固定資産二十万其の他約六万で、滞納額六%四十五万円となり、近頃では良い成績です。

編輯後記



晩春の夕立雨が今にも降りそうな夕暮に新館長を中心に、青年会の常任委員が編集に取りかゝる。

×

皆んな初めてなので、なか〳〵はかどらない程に…、ようやくにして終れば午前五時。すがすがしい朝の光が眼にしみる。

×

村報「たつおか」を今回から「竜丘公民館報」としたのは、編集の責任が公民館だから、はつきりさせる為にこうした。題字は、教育委員長の手をわずらわして作つたものです。

×

公民館報は、村民皆様の本当の声を発表すると同時に、村の色々な事をお知らせし、真に我々の館報として、明るい村作りにやくだつ様努力したい。

村民皆様の御指導と協力を仰ぎつゝ編集を終る。